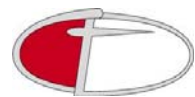


千葉大学／NPO法人企業教育研究会 の取り組みについて



千葉大学教育学部教授 藤川大祐
(教育方法学・授業実践開発)



プロフィール

1965年東京生まれ。2012年度より千葉大学教育学部生涯教育課程長。
メディアリテラシー、ディベート、キャリア教育、数学等、教科・領域の枠組みを越えた授業づくりを研究。

NPO法人企業教育研究会理事長。

Twitter: @daisukef (ブログ、Facebook等もご覧ください。)

子ども×大学・行政・地域・社会人 西千葉子ども起業塾

第2回キャリア教育アワード
審査員特別賞受賞

子どもたちが、「起業」を学ぶ「実践」型プログラム
西千葉子ども起業塾

最新情報を今すぐチェック!!
西千葉子ども起業塾 ブログ

感動、涙あり、
笑いあり、
挫折あり



- Home
- 概要 Outline
- ブログ Blog
- メンバー Member
- 日程 Schedule
- リンク Links
- 報告 Report



「ありがとう」を学ぶ3日間
先生になる20歳と、社長になった10歳の物語



ニューストピックス
News Topics

2011年12月29日 14:48

「第2回キャリア教育アワード」審査員特別賞受賞のご報告

この度、経済産業省の「第2回キャリア教育アワード」にて、この「西千葉子ども起業塾」の取り組み

ニューストピックス一覧
News Topics List

2011年12月29日 14:48 **NEW**

② **「第2回キャリア教育アワード」審査員特別賞受賞のご報告**

2011年9月30日 22:00 **NEW**

② **9月第三土曜市のブログに、起業塾の紹介が掲載!**

西千葉子ども起業塾
nc_kigyojuku

nc_kigyojuku ブログを更新しました! / 「西千葉子ども起業塾」公式ブログ: 「第2回キャリア教育アワード」審査員特別賞受賞のご報告
<http://t.co/qn8qOrgD>
22 days ago · reply · retweet · favorite

daisukef 【速報】千葉市・千葉大学連携事業「西

8月の3日間、市が募集した小学生たち20名が、数名ずつの「会社」をつくり、千葉大学経済人倶楽部「絆」会員を中心とした社会人アドバイザーの支援を受け、ゆりの木商店街「第三土曜日」に貢献するビジネスを企画、実行する。 <http://kids.wtwt.jp/>

プロとふれあう授業を提案
NPO法人
企業教育研究会



学生の方で、企業と学校
を結び、新しい授業・教材
を学校に提供する。

<http://ace-npo.org/>

みんなで書えよう、ケータイ
～情報モラル学習プログラム～

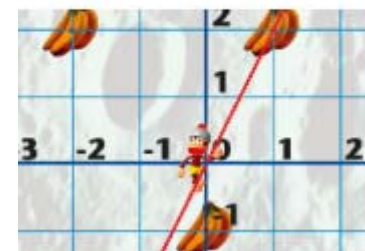


Sony Science Program
ソニー・サイエンスプログラム

書えよう、ケータイ
～情報モラル学習プログラム～



キャリア教育支援プログラム
ゲームでつながる授業と仕事



IBM と連携した授業



わたしたちの音楽と著作権
～音楽に関わる仕事を知ろう～



NPO法人企業教育研究会(ACE)の取り組み

学校のニーズに合った授業・教材の提供

キャリア教育、言語活動、食育、情報モラル教育等、学校が必要としつつも教員だけでは実施が難しい授業を提供。「出前授業」もしくは「DVDつき指導案冊子」の提供が基本。

NPOが調整役となり、学校の事情に対応。

企業の実質あるCSR活動に協力

学校教育への関心は高いものの、学校は敷居が高い。使われない教材を大量に配布して失敗する例も見られる。

自社のリソースを活かした対費用効果の高い社会貢献活動を可能に。社員のやりがい、自尊感情にもつながる可能性。

担い手としての学生の役割

学校での授業実施、教材や授業プログラムの開発、学校や企業との折衝等をNPOの「仕事」として学生が担当。学校にも民間企業にもかかわる人材の育成に。

人件費・研究費も含めて、企業が実施費用を負担。学生の生活保障、学会発表等や実験的授業開発も可能に。



学校、企業、学生のそれぞれにメリットがあり、持続可能な活動に。
(専従・準専従職員5名程度、学生スタッフ20名程度。出前授業等が年間200～300件。)

授業プログラムや教材の特徴

教科等の内容を「人」と結びつけて扱う

言語活動をする新聞記者、関数を使うプログラマー等の姿を示し、共感を喚起する。
教科等の内容が、「社会とつながっている」ことを感じさせ、学習意欲につなげる。

子どもの「承認欲求」に訴える

情報が不十分な時代には「知的好奇心」に、承認が得られにくい時代には「承認欲求」に訴える。
保護者でも教師でもない大人に認められる経験を提供する。

2時間程度の短いプログラムの提供

学校の教育課程を大きく変えることなく導入できるものを提供。
教科や総合の時間の一環として実施しやすい内容。
教育委員会主催の研修等でも模擬授業を実施。

視聴覚メディア・ICT・教具等の活用

授業の一部で利用できる視聴覚教材、ICT教材等を提供。使用方法は指導案として公開。
「手洗いキット」「記者手帳」等の教具の貸し出しや配布も。

企業と学校との関係への配慮

「同業他社の社員が保護者にいても成立する」ことを基準に、宣伝と受け取られないよう調整。
大学やNPOが関与し、多くの学校で事例を重ねることで、授業プログラムや教材の信頼性を確保。

子どもの環境の変化

地域共同体の崩壊と「大人とのふれあい」の消滅

(サザエさん、ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃん 神谷明宏氏による)

「新人類世代」（1960～65年生まれ）が親に

「個人の経済的豊かさ=幸福」という価値観 → 「利他的な夢」が必要
幼い頃から電子メディアに接触してきた世代が親に
「世間」の崩壊→しつけが困難に

消費者として扱われる子ども

高度情報社会は、子どもが受け身で情報を受け取る社会
買い物でも、「子ども」としてでなく「客」として扱われる



社会とのかかわり方を再考することが必要

教師×企業・NPO

異業種交流型の研究会



「千葉授業づくり研究会」「メディアリテラシー教育研究会」をそれぞれ原則月1回関係団体とともに定例開催。教育界以外からゲストを招き、授業づくりに活かす。2011年からは「関西授業づくり研究会」も開催。

テーマ例 「音楽の仕事と著作権に関する授業」
「医療機器の開発とそのお仕事」「発達障害とメディアの関係について」「ミクシィにおける、青少年が健全利用するための対策について」「教師のためのPR入門」



学校×企業・NPO・地域

西千葉地域での取り組み



西千葉を舞台にした映像制作（小学生、大学生）、小学生による西千葉修学旅行等、西千葉地域で実験的な取り組みを展開。



学校×アーティスト 子どもも教師も常識の枠を越える



京都・宇治市立小倉小学校「ようこそ一流アーティストたち」
NPO法人芸術家と子どもたちによるエイジス授業
劇団衛星による「演劇で算数」「演劇で環境」「演劇で食育」
「演劇で防犯」
NPO法人子どもとアーティストとの出会いによる「ダンスで、理科を学ぼう」



住民×行政×大学 学んだ成果を社会に還元する

千葉市生涯学習センターで開講の「ちば子ども学講座」の受講者が、「ちば子ども学研究会」を組織し、公民館やセンターとともに新しい講座の企画・運営や子ども対象のイベントを実施する。千葉大学教育学部生涯教育課程の「地域子育て支援活動実習」として、学生も参加。

